

## 生物化学的測定研究会 第21回学術集会プログラム

### 「食品、農産物の安全性を支える生物化学的測定法による化学物質の分析」

食品や農産物の安全性を確保するために、それらの流通、生産現場で、農薬や化学物質の分析が盛んに行われている。しかし、現在主流となっている機器分析法は、精密、多成分分析が可能であるが、流通、生産現場で必要とされる機動性やコストパフォーマンスに欠けることが指摘されている。そのため低コストでオンサイト分析が可能な生物化学的測定法の導入が図られてきている。そこで、その実態、問題点、今後の展望について検討する。

■期日：2016年（平成28年）6月10日（金） 13:00～17:20

■場所：一般社団法人日本植物防疫協会地下会議室（大）

（〒114-0015 東京都北区中里 2-28-10）

■プログラム(仮予定)	
総会	13:00～13:20
開会の挨拶 学術集会長 中村幸二(一般社団法人 日本植物防疫協会)	13:20～13:25
講演.1	13:25～14:05
J Aふかやにおけるイムノアッセイ法を利用した農薬残留分析の試み 成田 伊都美（埼玉県農業技術研究センター）	
講演.2	14:05～14:45
食の安心・安全に寄与する免疫測定法 1ー農薬を中心とした抗体作製と ELISA への応用ー 三宅 司郎（株式会社堀場製作所 先行開発センター Bio/Life Science チーム マネジャー）	
講演 3.	14:45～15:25
残留農薬簡易検査用イムノクロマトキットの開発 足立 香代（元（公財）科学技術交流財団主任研究員）	
休憩	15:25～15:35
講演.4	15:35～16:15
土壌に残留するドリリン系農薬の迅速簡易分析法ー栽培前の土壌診断による農作物のリスク 低減を目指してー 澤田石 一之（合同会社カーバンクル・バイオサイエンテック CEO）	
講演 5.	16:15～16:55
Cd イムノクロマトキットを用いた農作物の Cd 濃度測定と室間共同試験 阿部 薫（農研機構・農業環境変動研究センター・物質循環研究領域 領域長）	
総合討論・総括	16:55～17:05
閉会あいさつ	17:05～17:10
情報交換会	17:30～19:30

参加費：会員；3,000 円（要旨集込み）、非会員；5,000 円（要旨集込み）、  
学生；参加費無料（要旨集 2,000 円）

情報交換会参加費：5,000 円

### 【 会場案内 】

J R 山手線駒込駅下車、徒歩約 10 分

東口を出て山手線沿いに田端方面に進行、右手踏み切りの所を左折直ぐ。

曲がり角左側に大きなゴルフボールのオブジェ。

### 【 地図 】



問合先：生物化学的測定研究会事務局（担当：照沼）

〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町2-7-1

京都電子工業株式会社 東京支店内

TEL：03-5227-3151 FAX：03-3268-5592

E-mail：[kem.basj@kyoto-kem.com](mailto:kem.basj@kyoto-kem.com)

HP：<http://www.basj.info>

## 参加申込

(1) FAX での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へFAX 送付 (03-3268-5592)

(2) E-mail での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へE-mail 送付 ([kem.basj@kyoto-kem.com](mailto:kem.basj@kyoto-kem.com))

(3) 申込時の必要事項 (記載例)

生物化学的測定研究会第21回学術集会の参加を申し込みます。

会員種別 : 会員 (個人・法人)、非会員

交流会参加 : 参加、不参加

氏名 :

勤務先 :

郵便番号 :

住所 :

TEL :

FAX :

E-mail :

\*参加費は当日受付でお支払い下さい